

# 令和6年能登半島地震における 燃料供給対応について

令和6年2月  
資源エネルギー庁 資源・燃料部

# 令和6年能登半島地震における燃料供給対応（2024年2月2日現在）

- 政府・自治体・石油業界の連携の下、燃料供給インフラの被災状況把握、「プッシュ型」による燃料供給支援について、円滑に実施。

## <被災状況>

- 製油所・油槽所について、一部の油槽所において、タンク・配管に損傷があるものの、近隣油槽所からの応援配送等により、需給に大きな影響は無し。
- SSについて、中核SS・住民拠点SSを中心に、能登北部6市町における69SSのうち、約85%にあたる58SSが営業再開済。
- LPガスについて、七尾基地及び奥能登4市町の充填所3ヶ所のうち2カ所が被災しているものの、他のLP基地や充填所等からの応援配送等により、需給に大きな影響なし。

## <対応状況>

- 1月4日以降、道路啓開により大型車が通行可能となった後、大型ローリーにより、平時を上回る台数による前倒しの燃料供給を実施。SS在庫の十分な充填により、給油待ちの行列や給油制限などはほぼ解消済。
- 各避難所に対しては、暖房用の灯油や発電機用のガソリン等のドラム缶やミニローリー等により配送しており、降雪にも備えて燃料在庫を随時拡充。避難も長期化にも備え、きめ細かく対応していく。



# 令和6年能登半島地震における主な燃料供給事例

## 【大型ローリーによる迅速な配送】

○奥能登6市町における営業中のSSに対して、道路啓開の状況も踏まえ、順次大型ローリーによる燃料供給を実施。



○平時は数台のところ、**10台を超えるローリーによる前倒し配送**により、十分な在庫を充填し、**給油待ちの行列や給油制限は1週間程度でほぼ解消**。

## 【避難所等への燃料供給】

○避難所や停電している病院等の重要施設に対して、**「プッシュ型」の燃料需要把握・供給**を実施。



○暖房用の灯油、発電機用のガソリン、除雪車用の軽油、銭湯ボイラー用の重油など、様々な用途に対して、これまでに計15万KLを超える量をドラム缶・ミニローリー等で供給。

## 【緊急車両等への優先給油】

○中核SSを中心に自衛隊・警察・消防などの緊急車両、加えて、電源車・通信・医薬・バキュームカーなどの車両に対しても、**優先給油を実施**。



○関係省庁や業界団体とも連携することで、復旧作業の迅速化に向けて対応。

※全石連提供

## 【能登4市町におけるLPガスの状況】

○被災直後の需要は、各家庭の軒下や充填所にある在庫（充填済ボンベ）で対応。

○能登4市町の充填所3つのうち2つが停止中だが、県内の他の充填所からの出荷で**供給量に問題なし**。



○洗濯ニーズに対応すべく、関係省庁等とも連携し、ドラム缶、軽油、LPガスを供給。

# 能登半島地震で被災した事業者等への支援策（燃料部分抜粋）

- 被災者の生活と生業(なりわい)支援のため、1月25日に政府として支援策をとりまとめ、26日には予備費の閣議決定を実施。このうち、経済産業省関連は以下のとおり。

## 1. 中小企業等の施設・設備復旧支援（略）

## 2. 中小企業への金融支援（略）

## 3. エネルギーインフラ復旧支援

### （1）SS（サービスステーション）早期復旧支援【9.5億円】

- 被災したSSの計量機、防火壁、タンク等の設備の補修・入替工事にかかる費用を補助。補助率3/4。

### （2）LPガス小売事業者早期復旧支援【9.0億円】

- 被災した石油ガス小売事業者等の充てん機等の設備の補修・入替工事にかかる費用を補助。補助率3/4。

### （3）石油等製品供給施設早期復旧支援【既存予算を活用】

- 油槽所等・石油ガス貯蔵所関連設備の補修・入替工事を補助。補助率1/3。